



# 京都教区時報



京都教区広報委員会  
 (編集長 村上透磨)  
 京都教区本部事務局  
 京都市中京区  
 河原町通三条上る  
 TEL 075-211-3025  
 FAX 075-211-3041  
 honbu@kyoto.catholic.jp

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

## 第1回 働く若者とともに

2023年 司教年頭書簡  
 「コロナ時代を生きる信仰者」  
 「わたしのシンダリティを創ろう」  
 を受けて



わたしは、司祭に叙階された年から、いつも働く若者とともに歩んできました。最初は、西野猛生神父のもとで、若者の集まりに参加していました。

2年目からは、滋賀県に、中学・高校を卒業して、長崎から働きに来ている若者がたくさんいると聞いて、出会うために出かけていきました。最初は、各教会の神父から名簿をもらい、どこで働いているかを確かめました。なかには、籍はあるけれど、すでに会社をやめてしまった人もいました。みんなは会社の寮に住んでいましたので、近くまで行って、電話をして、喫茶店で会っていました。しかし、ゆっくり話がしたいので、草津教会の司祭館の応接間をお借りして、集まりをもちました。その後、大津教会の旧修道院が空き家になっていたので、働く人の家として使わせてもらうことになりました。

3年目には、京都市内の伏見教会を担当することになり、滋賀県に出かけるために留守がちになりました。また、当時は、日曜日の夕方にも主日のミサがありましたので、村上真理雄神父に助けてもらいました。土曜日の夜には、遅くまで若者たちと話をし、翌朝には、朝7時の主日のミサに間

に合うように、教会に戻ることがしばしばでした。

紡績工場で働いている人たちは、会社の交代勤務に合わせて作られた、公立の昼間定時制高校で学んでいました。午前出勤の時は仕事を終えてから、午後出勤の時は仕事の前



1983年5月くろんど池にて  
 (奈良県生駒市)

に高校で勉強していました。そのため、平日は、仕事・学校での勉強・寝るだけの毎日です。休みの時は、寮で一緒にいる人たちと過ごすことが大切ですので、教会のミサにもなかなか参加できないようでした。

働く人の家には、信者だけでなく、寮の友だちも誘って来てくれました。集まった時には、まわりにどんな友達がいるか、普段の生活でどんなことを大切にしていけばよいかなどの話をしました。また、話し合うだけでなく、みんなを誘って、よく遊びに出かけました。今は、京都市内の九条教会の敷地内にある働く人の家で集まっています。「ともに歩む」ためには、待っているだけではだめで、こちらから出かけていくことも必要ですね。

カトリック青年労働者連盟(京都JOC)  
 担当司祭 瀧野正三郎

司教年頭書簡は

こちらから↓



### カトリック丹後教会 宮津教会堂 京都府指定有形文化財指定

#### ■宮津教会の歴史

宮津教会は、パリ外国宣教会のフランス人宣教師、ルイ・ルラーブ神父によって創立されました。



ルラーブ神父は、1885(明治18)年に来日し、1888(明治21)年に宮津に居を定め、宣教の拠点としました。当時の受け持ち区域は、若狭から但馬に及んだそうです。

聖堂(洗者聖ヨハネ天主堂)は、長崎の大浦天主堂に次いで、日本に現存する2番目に古いカトリック天主堂です。1896(明治29)年、地元の田井氏より敷地の寄贈を受けて献堂されました。ルラーブ神父が設計し、地元の日本人大工が施工にあたりました。

フランス風の構造に木造・畳敷きという和洋折衷のロマネスク式の聖堂で、フランス直輸入の色鮮やかなステンドグラス、けやきの柱、ドーム式の天井などは、カトリック教会の聖堂として全国でも初期に建築されたもので、明治中期のおも

かげをとどめる貴重な教会建築です。1941(昭和16)年、来日以来56年間、母国に帰国することなく日本で宣教活動を続けてきたルラーブ神父が83歳で帰天したあとも、レデンプトル会の神父方や信徒によって聖堂は維持管理されてきました。

1996(平成8)年5月6日には、献堂100周年記念ミサが田中健一司教によって、また2017(平成29)年5月6日には、献堂120周年記念ミサが大塚喜直司教によってささげられました。

#### ■文化財登録の経緯と今後の展望

2019年6月、京都府教育庁文化財保護課から「京都府指定・登録文化財」登録への答申が来ました。文化財に指定されるためには、建物の所有権が明確でなければなりません。しかし、聖堂の所有者は「日本大阪教区天主教宣教師社團」というすでに解散している団体でした。その登記は1905(明治38)年8月24日所有権保存されていたので、所有者を京都司教区にするため、顧問弁護士、司法書士に相談し、各地(大阪

市、茨木市、神戸市、宮津市、京都市)の法務局に赴き資料を揃え、最終的に大阪地裁に「所有権移転登記手続き請求事件」として提訴しました。2021年5月、勝訴が決定し、6月に判決が確定、7月に京都司教区に所有権が移転・登記されました。以上のような所有権移転のための長い道のりを経て、同年11月に「京都府指定有形文化財(建造物)に指定されました。今後、文化財に対応する火災設備の構築や、建物自体を修復・保全するための工事の必要があります。



#### ■京都教区の皆さまへ 献金のお願い

宮津教会堂は、献堂以来120年以上を経過し劣化による傷みが激しく、特に入り口部分は倒壊の危険もあります。修復のための献金のご協力をお願いします。

宮津聖堂修復献金の振込先：ゆうちょ銀行  
口座番号・00990-2-238343  
加入者名・宗教法人数カトリック京都司教区  
この口座は「宮津聖堂洗者聖ヨハネ天主堂修復基金」専用口座です。



### トノシロのしげき

### 灰の水曜日の思い出

「私は裸で母の胎を出た。裸でそこに帰ろう。主は与え、主は奪う。主の御名はほめたたえられよ」(ヨブ1・21)。

「あなたは塵であり、塵に帰りなさい」(かつての灰の式のことば)。

1967年の灰の水曜日に、愛する母テレジアの訃報を受け取りました。当時私はローマにおり、憐れみの聖女テレジアの霊性(神の父性)について学んでおりました。あの時ほど灰の水曜日の意義を黙想させられたことはありません。そこで私は先の言葉の電文を打ちました。私以上に兄弟姉妹が悲しんでいると思ったからです。

電報を打って帰ると、泥棒が入っており、よい四旬節の幕開けとなりました。

私が司祭になれたこと、これは両親への感謝の贈り物だと思っています。四旬節は罪の恐ろしさにさいなまれるより、神の計り知れぬ愛の計らいを体験する時だと思えます。

とんだ私事になってお恥ずかしい!!

人々に愛と慈しみが、豊かに、豊かに。



広報委員会担当司祭 村上透磨

## YES 2022 報告

11月5日㊥西院教会をお借りして、YES2022 を行いました。テーマは「聖書の秋」。聖書カルタを行った後、大塚司教様に、聖書の読み方について講話をしていただきました。今年は久しぶりに対面で開催することができましたので、参加者の感想を紹介させていただきます！

- 短い時間でしたが、久々に対面で交流できて楽しかったです！ 司教様の意外な一面を見ることができて貴重な時間でした！（鈴木将樹）
- 年の近い方たちと一緒に分かち合いが出来て楽しかったです！（岡雅）

私は、今、自分がどのような状況なのかを理解してから聖書を読むというお話を聞いて、聖書を読むことに対する印象が少し変わりました。また、久しぶりに対面でのイベントに参加することができて、とても嬉しかったです！

運営委員/唐崎教会 池田瑠智亜

つながりネットワーク 聖めようステーションとよみ

### 京都カトリック青年センター

青年センターは、教区を越える青少年活動について、京都教区の窓口となるとともに、京都教区内の各教会、青年の各諸活動をバックアップするための機関です。



← 青年センターのHPも見てね！

青年センターあんでな

### 大塚司教の予定

最新の情報は京都司教区のホームページにてご確認ください。



## 2月のお知らせ

### 教 区

#### 広報委員会

教区時報4月号の原稿締切日は2月27日㊦です。

### 諸 団 体

#### 京都カトリック混声合唱団

祈りと歌の集い 12日㊦ 14:00  
河原町教会聖堂

一般の方も参加自由  
問合せ：075-951-4283 則武 隆

#### コーロ・チェレステ(女声コーラス)

練習：9日㊦ 10:00  
河原町教会2階楽廊  
どなたでも練習にご参加ください。  
問合せ：075-701-3303 岡田久美

### 司祭の追加任命のお知らせ

2023年1月1日付  
青少年委員会 青年セクター担当  
ソ・ウォンハ師 (チェジュ教区)

### カトリック京都司教区 セクシャル・ハラスメント相談窓口

ひとりで悩まないで、相談してください



080-9750-6408



受付時間：月・火・木曜日 10:00～16:00  
不在の時にはメッセージを残して下さると  
おかけ直します。  
新しいリーフレット  
ができました。



### 聴覚障がい者の会・京都グループ

#### 手話ミサと総会

日 時：7日㊦ 13:30 手話ミサ、  
ミサ後総会15:30まで  
場 所：河原町教会地下都の聖母小聖堂  
およびヴィリオンホール  
新型コロナの状況により中止となる場合あり  
問合せ：Tel・Fax：075-723-1135 傳 裕子

### 心のともしび ラジオ番組案内

(全国34局で放送)

KBS京都 ㊦～㊩ 朝5:55  
⊕ 朝5:15  
ラジオ関西 ㊦～㊩ 朝5:00  
⊕ 朝6:05  
毎日放送 ㊦～㊩ 朝5:45  
⊕ 朝4:55

2月のテーマ「ゆるし」  
ホームページもご覧ください。

<https://www.tomoshihi.or.jp>  
長年この番組に寄稿して下さった遠藤  
周作氏の生誕百年を記念して、毎月第4  
月曜日に、当時のエッセイを新しく朗読し、  
放送します。



点訳版「京都教区時報」〈無料〉ご希望の方は『カ  
障連大阪フレンドリー点字部』嶽崎 (たけざき)  
裕子さんまでお申込みください。  
Tel・Fax/079-431-8601

